

# アカシア探険隊

～MI・2007

国家公安委員長室潜入の巻～



51回 溝手 顕正氏

～国務大臣 国家公安委員会委員長  
内閣府特命担当大臣(防災担当)～



## Profile

昭和17年9月13日広島市南区生まれ、36年3月広島大学附属広島高等学校卒業、41年3月東京大学法学部卒業、41年4月新日本製鐵(旧 富士製鐵)株式会社入社、46年5月幸陽船渠株式会社 代表取締役就任、54年8月幸陽船渠株式会社 代表取締役就任、62年11月第15代三原市長就任、平成3年11月第16代三原市長就任、5年12月第15回参議院議員補欠選挙 広島選挙区当選、7年7月第17回参議院議員通常選挙 広島選挙区当選、13年7月第19回参議院議員通常選挙 広島選挙区当選、18年9月国務大臣 国家公安委員会委員長 内閣府特命担当大臣(防災担当)

中..お..い君、君。ちよつと警察庁まで同行してくれんかね。それで少々お話を、。  
谷..(ドキッ)。。。。  
中..どうした。顔色悪いし、目が泳いどるが？  
谷..いや別になんでもありません。先輩一人で行って来て下さい。私はその日は大事な用事がありますから。  
中..まだいつ行くかなんて言うとは

中..お..い君、君。ちよつと警察庁まで同行してくれんかね。それで少々お話を、。  
谷..(ドキッ)。。。。  
中..どうした。顔色悪いし、目が泳いどるが？  
谷..いや別になんでもありません。先輩一人で行って来て下さい。私はその日は大事な用事がありますから。  
中..まだいつ行くかなんて言うとは

らんぞ。それにお前が行かにはや意味が無いんじゃないけど。  
谷..NaNa、な、何ですか？  
今度から原稿提出期限は絶対守ります。だから警察庁へ行く事だけは勘弁してください。お願いしますお代官様。m(\_ \_)m  
中..なんか勘違いしてないか？51回の溝手先輩にインタビューするだけなんじゃけど。  
谷..(ツツ) そーですか。そーですか。了解ですう、何時行きます？でも時の国務大臣にそーう簡単にアポとれるとは思えません。  
中..そこはワシにまかせんさいや。

谷..この度の国務大臣ご就任はあの程度予想されてましたか？  
溝..いいえ。全くの想定外とまで

谷..(前もそう言うといて騙されたことがあるんじゃないけど。もしまた騙したら110番しちゃる。) そんな大見得きって大丈夫ですかあ？もしアポ取れなかったら、武士の一分がたちま

中..心配すんなって。だいじょぶ。  
谷..そりゃそーと、警察庁と警視庁はどう違うんですかねえ？  
中..お前、高校の社会の授業サボって、「未履修」じゃろ。  
溝手顕正氏の登場です。  
今度も異例とも言える、「国務大臣単独インタビュー」が実現いたしました。就任されたばかりであり、大変に重要な任に就かれ多忙を極める中、同窓会であるアカシア会の為に特別にお話しを聞ける事となりました。非常に嬉しいけれど、とてもフレンドリーなSP警戒のなか、某所、某日、さる時間帯にてお話を伺いました。許される時間限度一杯、高校時代の思い出、アカシア会への想い、そして現役生徒諸君へのメッセージなどを語っていただきました。  
中..今日は大変にお忙しいところ有難うございます。また、この度は国務大臣就任おめでとうございませう。

中..高校時代の思い出をお聞かせ

中..国家公安委員長・防災担当大臣とは、大変な職務ですね。どのようなご決意で就任されたのですか。  
溝..政府の仕事はどれも重要ですから、どの任に就こうが全力を尽くすだけです。防災や公安を担当するという事は、国家・国民の生命財産を守るという事です。特に日本は地震や台風その他の自然災害に何時襲われるかわかりませんから、常に防災意識を持っていなければなりません。しかし自然災害は避けることが出来ないと言うこともまた事実です。ですからどのように防災施策を実行するか、また、それでも被害を受けた場合にどれだけ迅速に被害を受けられた方々の側に立った支援ができるかが重要です。物やお金での災害復興も確かに重要ですが、それ以上に如何に心を通わせた支援が出来るかが大切であると私は思っています。それを実行・実践して行くのが政治の、そして自身の責任だと考えています。ですから、24時間緊張していませんよ。深酒なんて絶対できませんしね。だけど私が暇なのが、国民の皆様にとっては一番良い事なんですよね。(笑)

中..高校時代の思い出をお聞かせ

中..高校時代の思い出をお聞かせ

中..高校時代の思い出をお聞かせ

中..高校時代の思い出をお聞かせ



和やかな雰囲気でお話頂きました。



某所、某日のインタビュー風景

も「腹減った」って言っていました。おかわりできる分に限りがあったから、色々作戦を練ったり、お櫃のご飯を等分するのをちよつと余計に取ったり。小遣いを貯めて買った食パンに砂糖まぶして夜食に食べたりもしました。学校生活のほうでは、当時は文化祭でクラス対抗の演劇があつて「絵姿女房」というのをやったのを憶えているなあ。女性の主役が霊岳（浅野慧子）さんで、私が男の主役をやりました。ディレクターは山本（徳丸邦子）さんでした。女性監督だったわけです。そういう意味でも附属は進んでいたのかなあと思います。

中…東京大学時代はアメフトで活躍され、キャプテンとして一部リーグに昇格されていますね。

溝…まあ、たまたまそういう巡り合わせだったんだとは思いますが、絶対在学中に一部昇格を果たすと心には誓っていました。それとアメフト部に附属の後輩が入ってくれて随分支えてくれました。（53回山本紘司氏、54回高良博征氏、野坂康夫氏、長谷川和彦氏、八木聖二氏、他）。彼らには今でも感謝しています。



高校の文化祭、中央主役が溝手氏（ご本人のホームページより）

谷…アカシア会のメンバーの皆さんにメッセージをお願ひいたします。

溝…これまでインタビューに答えていらつしやる方々のコメントには全く同感です。高校時代の思い出というのは本当に宝物のようなものです。高校卒業後も大学、社会人と多くの人々との貴重な出会いがあります。多感な時期をともに過ごした仲間というのは、適当な表現が見当たりにませ

が、それらとはちよつと違うのではないのでしょうか。同窓の仲間には、それまでの時間も距離も一瞬にしてとんでいってしまいます。アカシアの皆さんは様々な分野でそれぞれ活躍しておられます。そして卒業年次に関わりなく非常に人間的な絆で結ばれていて、素晴らしい同窓会だと思えます。アカシア会がこの先ずっと続いてゆくことを心から願います。また、私とその仲間の一人である事に本当に感謝しています。

中…在学中の生徒諸君にもメッセージをお願いします。

溝…我々の在学していた頃とは時代が違いますので、その頃の物差しであれこれ言えないと思います。ただ、脈々と受け継がれてゆくべきものはあるでしょう。それが自主自律の精神かもしれないですね。世の中は豊かになりましたし、これからはますます変化の激しい時代となつてゆくでしょう。その流れの中で自製心をもち、時代に順応し、時代を見通す力を培っていただきたいと思ひます。また情報が溢れている時代でもあります。それらを的確に取捨選択する視線も持つて欲しいですね。これからの時代は、「味のある」人材が求められると思ひます。ぜひ味のある、深みのある人間へと成長していつてください。それ



左から谷口公啓 (73回)、溝手顕正氏 (51回)、中本泰弘 (65回)

等が可能とする稀な校風をもつた学校に在学しているのですから。

中…今日はお忙しいところ、本当に有難うございました。

谷…国務大臣、しかも国家公安委員長とお話するというのが相当緊張しましたが、人当たりの柔らかい方でしたね。

中…本当に裏表のないまっすぐで温かな感じのする話しぶりじゃつた。それにしてもお前の緊張感には他に原因があつたんじゃないろう？

谷…えっ？あつ、いや。社会科未履修の疑いの件があつたから逮捕されるんじゃないかと心配で。

中…アホ！そんなんで逮捕されるか！それより今から補習受けて来い！

\*\*\*  
中本 泰弘 (65回)  
谷口 公啓 (73回)



地上デジタル放送  
お問合せ下さい

TATESHIBA

〒733-0002  
広島市西区楠木町4番3号  
株式会社 立 芝  
代表取締役 向井 恒雄 (50回)  
TEL 082-230-3711  
FAX 082-237-7222

絵下山 送信所